

資料 しまだエコ活動レポート

平成27年度に登録及び報告された「しまだエコ活動」を紹介します。なお、各活動については、市ホームページにも掲載しています。

島田市の循環型社会を考える会

◎活動名 島田市の循環型社会を考える会の活動

●活動実績

平成27年度における島田市の循環型社会を考える会の主な活動は、小学生児童を対象とする環境セミナー及び質問紙調査分析です。なお、本会の活動の一部は、島田市まちづくり支援事業交付金の助成により実施されました。

1. 環境教育

期日：平成27年8月26日(水)

内容：大津放課後児童クラブ活動において、環境塾(エコ・クッキングと生ごみの話)を開催しました。参加児童は小学生61人です。これは、島田市の循環型社会を考える会とNPO法人島田環境ひろばの協働によるものです。



環境教室の様子

2. 環境セミナー

(1) 島田市生ごみ堆肥化・消滅化市民活動団体意見交換会

期日：平成27年7月9日(木)

内容：生ごみ自処理学習会に関する打ち合わせを行いました。参加者は、市民、団体メンバー、行政職員ほか計24人です。

(2) 生ごみ自家処理学習会—あなたにピッタリの生ごみ処理法を選ぼう—

期日：平成27年12月5日(土)

内容：参加者に対し、生ごみの処理活動を実践している団体がそれぞれの方法を説明し、生ごみを燃やさないで処理するための勉強会を行いました。参加者は、団体メンバーを含め30人です。これは、島田市の循環型社会を考える会、金谷ライフクリエイターサークル、ネットワーク桜花、NPO法人しまだ環境ひろば、海とまちと里山くらぶ、および島田市のごみの更なる減量化推進合同検討会の協議を行いました。



生ごみ処理学習の様子

3. 質問紙調査分析

市民(小学校児童保護者)の方々、市内の団体および事業者を対象とした質問紙調査(平成 26 年 12 月実施)の分析を行いました。市民の方々のボランティア活動に対する意識や行動および団体や事業者の方々の地域主体との協議に対する意識や行動を明らかにすることができました。

NPO法人 しまだ環境ひろば

◎活動名 竹林の保全・管理

●活動実績

島田市の山手一帯は、孟宗竹が茶畑や森に侵入し、農家の高齢化と相まって、その面積を拡大しており、竹林整備は大きな課題となっています。しまだ環境ひろばでは、市内伊太地区の放置竹林 2 ヶ所の孟宗竹地区を伐採して果樹園や雑木林への再生活動をしています。平成 27 年度も次のような活動を行いました。

伊太八幡宮西竹林整備



森づくり大作戦「ドウダンツツジを植えよう」

森づくり大作戦「森の再生活動に参加しよう」



伊太八倉町公会堂横の竹林整備 (釜ん沢公園)

釜ん沢に架かる丸太橋 (完成)



沢の清掃・散策道の修復作業



◎活動名 梅林の保全・管理

●活動実績

島田市伊太地区は、梅の栽培が盛んな地区で、毎年2月には盛大な梅まつりも開催されています。しかし、農家の高齢化、後継者難により、梅林の耕作放棄地もだんだん増えています。

しまだ環境ひろばでは、管理ができなくなった農家から、梅林一ヶ所の維持管理を任せられ、3年前から取り組んでいます。

①梅は、病害虫に侵されやすい果樹であることや、的確な剪定や摘花をしないと収穫量が落ちることから、大変な労度がかかります。会員の一人が、剪定技術を身につけると同時に、下草刈り、剪定、規定の農薬散布などを常時続けています。

②お蔭で、今年度の梅は、豊作でした。

平成27年5月31日(日)市民を公募して「梅の収穫体験と、自然環境を学ぼう」を開催しました。

梅林管理人から梅の収穫法を説明



<市民公募 案内チラシ>



収穫の様子



◎活動名 御仮屋市民農園の開設と維持管理

●活動実績

しまだ環境ひろばでは、平成 24 年 10 月、市・農林課の推薦で、「耕作放棄地再生利用に関する支援制度」にエントリーして、国・県・市の助成金を得て、御仮屋市民農園を開設し3年目になっています。

耕作放棄地の再生による景観保持、周辺地域の環境保全、市民の農園参加による地産地消を目的に維持管理を行い貢献しています。

ナスの栽培



トウモロコシの栽培



◎活動名 休耕田を利用した「コミュニティ農園」で地産地消

●活動実績

しまだ環境ひろばは、平成 21 年 6 月、農家の高齢化、後継者難によって耕作放棄された休耕田 350 坪を、地主の了解の下で畑に再生し、約 80 坪を、20 区画の個人農園として無料で貸し出し、約 270 坪を共同区域として、個人農園参加者に、月一回（第四日曜日）朝 2 時間の共同区域の農作業をお願いするという仕組みを作ってスタートを切りました。

今年でもう 7 年目、個人農園では、参加者が思い通りの野菜・穀物を作って地産地消を実行しています。

共同区域では、主に大豆を栽培し、枝豆を、「くらし・消費・環境展」や、「ふれあい広場」に出荷、大豆は、「新春 手づくり味噌体験会」の素材として提供し、伝統食づくりに貢献しています。

手づくり味噌は、新春の定番となり、30 人弱の市民が、10k g 位ずつ約 270k g 仕込みました。

サツマイモの苗植え



大豆の苗の様子



11 月末～12 月 大豆収穫・天日干し・実だし・唐箕かけ・実の選別作業の様子



◎活動名 小水力発電の研究と導入促進

●活動実績

地球温暖化の影響で、世界も日本も異常な気象に見舞われています。また日本では、東日本大震災を契機に、将来の脱原発は国民の悲願となり、それらを実現する手段として「再生可能エネルギーの創出」は、最重要課題となっています。

しまだ環境ひろばでは、島田市に豊富に流れている大井川用水の活用による「小水力発電」に着目して、平成23年からこれに取り組んできましたが、今平成27年度は次のような活動に取り組んできました。

(1) 平成24年度に発足した「静岡県農業施設を活用した小水力発電等利用推進協議会」の正会員になり、平成27年度も同協議会活動に参加してきました。

- ・平成27年4月28日(火)「ふじのくにエネルギー地産地消推進事業費補助金説明会」に出席し、補助金公募要領を学習しました。

- ・平成28年1月22日(金)、「島田市における小水力発電施設の活用について」協議会事務局・志太榛原農林事務所・大井川土地改良区・しまだ環境ひろばの出席のもと、意見交換会を開催しました。

(2) 島田市ゆめ・みらい百人会議に、しまだ環境ひろばから2人の会員がエントリーし、「エコまち未来プロジェクト」に所属して、島田市・環境課、農林課と協働して「島田市小水力発電創出合同検討会」を設置し、途中から大井川土地改良区も加わり、企画段階から一緒にテーブルについて「島田市で小水力発電を創出するにはどうしたらよいか」の検討に精力的に取り組みました。合同検討会は都合4回開催し発表提言書をまとめました。

4月24日(金) 第1回合同検討会→再生可能エネルギーの必要性について

5月28日(木) 第2回合同検討会→長泉町システムの学習と応用について

6月30日(火) 第3回合同検討会→小水力発電の実現のための手段について

8月3日(月) 第4回合同検討会→発表会用提言書まとめ

合同検討会では、① 小水力発電のガイドブックの製作と、② 地元色の濃い島田システムの構築 ③ モデルケースづくりの3つに取り組みました。

(3) 3月16日(月)長泉町小水力発電システム「ニコニコ1号」運用開始式と設備見学会に、百人会議2人、行政(元企画課)1人、市議会1人が出席しました。運用開始式には、県・市・事業者・地元関係者約200人が参加し、再生可能エネルギーの創出を祝いました。島田システムの構築に大変役立ちました。

<長泉町ニコニコ水力1号機>

<同 制御機器>



(4) 5月28日(木)、長泉町システムの事業主体となった、「(社)自然エネルギー利用推進協議会」に
来島田願い、システムの詳細と、問題や課題の説明を受けその
あと質疑応答や意見交換会を行い、大きな収穫を得ました。

(5) 6月27日(土)、「島田市ゆめみらい百人会議 全体会」の
「エコまち未来プロジェクトブース」に市長・副市長が相次いで訪れ、島田市における小水力発電の必要性や、ごみの減量対策について意見交換しました。

9月5日(土) プラザおおるりホールにて開催した、「島田市ゆめ・みらい百人会議 提案発表会」にて、テーマ「島田市で小水力発電を創出しよう」を発表しました。



チーム協力して提言発表の様子

(6) 昨年に続いて、平成27年10月17日(土)、プラザ おおるりで開催した、「島田市暮らし・消費・環境展 2015」に、「観せて魅せよう！水と緑の恵みのエネルギーの創出」と題して、小水力発電 デモ機・実機2台・説明パネル他を展示し、小水力発電の有効性を市民にアピールした。

(7) 平成27年10月18日(日)「島田市ゆめ・みらい百人会議 第7回全体会(最終回)」にて、ここまで都合4回開催してきた、「島田市小水力発電推進合同検討会」の継続開催が決まりました。
写真は、継続開催の確認をする百人会議委員です。



12月18日(金) 第5回合同検討会 開催

大井川土地改良区から案件(県の計画 細島発電所)の具体的報告

ガイドブックの作成について、合同検討会の今後の活動について

2月4日(木) 第6回合同検討会 開催

案件への合同検討会の関わり方の打合せ

ガイドブックの作成について

※合同検討会は、平成28年度も継続開催の予定です。

◎活動名 市民の環境意識向上のための広報活動

●活動内容

「島田市環境基本計画」には、島田市が目指す 20～30 年後の望ましい環境像と、それを実現するための市民・事業者・行政の取組みが書かれています。しまだ環境ひろばは、環境基本計画に書かれている、市民の取組を全方位に活動していますが、どんなに良い活動をやっても、その活動を市民に知ってもらい、面の拡大がなければならぬと、広報活動を大事にしています。

くらし・消費・環境展の様子



「ふれあい広場」出店の様子



歩歩路の掲示板



※しまだ環境ひろばでは、「はてなダイアリー ⇒ e コミュにティしまだ」にブログ開設し、「しまだ環境ひろばの日記」を毎日配信しています。記事の内容は、環境関連（自然保全・エネルギー・地球温暖化・ごみ・環境教育）の、ニュース・施策・イベントなど、範囲は、国・県・市また自団体や他団体など多岐に渡って新鮮な話題を紹介しています。

◎活動名 しまだ環境ひろば塾の開催

●活動実績

しまだ環境ひろばは、平成 15 年の設立以来、平成 24 年までは、市からの業務委託で、平成 25 年から今日に至る 3 年間は、「しまだ環境ひろば塾」で、通算 13 年、年間 10 件余開催してきました。どんなに良い市民活動をやっても、市民の環境意識が向上しなければ意味がありません。そのためには、秘訣はありません。幼児教育・児童教育・生涯教育を地道にこなして行くことが重要です。

平成 27 年度は、都合 9 回の「しまだ環境ひろば塾」を開催しました。

「梅の収穫体験と自然を学ぼう」の様子



「エコクッキングと生ごみの話」の様子



伊太八幡宮西竹林でのドウダンツツジを植える様子



「新春 手作り味噌体験会」の様子



「里山の再生活動 釜ヶ沢公園の道と沢を整備しよう」の様子



◎活動名 生ごみ堆肥化の普及活動と生ごみ分別収集の調査・研究

●活動実績

しまだ環境ひろばでは、平成 15 年の設立以来、生ごみ処理の先端都市の視察、有識者による講演会、実機による生ごみ自家処理法の学習会・実証実験を経て、種々の方法による生ごみ処理法にトライしてきました。現在は、会員が、「さんさんBOX方式」と「腐葉土 CB コンポ方式」の2方式で実施して今日に至っています。平成 27 年度は、次のような活動をしてしました。

生ごみの自家処理学習会

「さんさんBOX」を用いた生ごみ処理

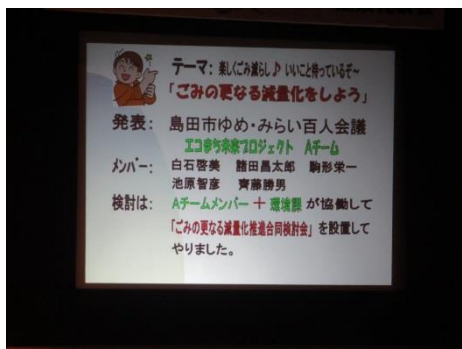


「腐葉土CBコンポ方式」を用いた生ごみ処理



島田市ゆめ・みらい百人会議での発表

生ごみの自家処理市民団体意見交換会



◎活動名 環境保全活動の進行管理の推進

●活動実績

島田市は、平成 15 年 4 月、「島田市第一次環境基本計画・10 年計画」を発令しました。次いで平成 25 年 4 月、「島田市第二次環境基本計画・10 年計画」を発令し、今年度は通算 13 年目となっています。この間、市民・事業者・行政が協働して、環境基本計画のそれぞれの取組みを実行し、毎年、進行管理（PDCA）を行い、「島田市環境報告書（白書）」としてまとめてきました。

「しまだ環境ひろば」は、第一次環境基本計画の策定・発令時に、市民の取組を実行すべく結成された市民環境活動団体として、毎年、自団体の活動計画の立案（Plan）、実行（Do）、点検・評価（Check）し、見直し（Action）を行い、市へ報告し、市の進行管理にも協力してきました。平成 27 年度の活動は以下のとおりです。

- ①平成 27 年 4 月 25 日（土）、27 年度の通常総会を開催し、26 年度事業実績や決算フォロー（D・C）や、27 年度活動計画・予算計画（C・A）を承認しました。
- ②総会終了の翌日から、「事業計画書（P）」に基づいて活動（D）を開始しました。
- ③毎月の活動実績は、隔月第二土曜日に開催している「定例会」で、事業担当者から報告・連絡・相談（D・C）がなされ、翌月計画（P）など決定が必要な事項は、協議にて決議しています。
- ④しまだ環境ひろばでは、市民との接触機会（環境ひろば塾・農林課主催の地産地消連絡会・学校給食課主催の地産地消推進連絡会・その他）を見つけて、島田市環境基本計画とその進行管理について努めて紹介しています。
- ⑤平成 28 年 2 月 27 日（土）島田市の循環型社会を考える会主催「地域の環境教育とアンケート調査結果報告会」にて島田市の環境基本計画の進行管理の仕組みや実態を詳しく説明しました。



平成 27 年度通常総会



総会資料

◎活動名 タイタンピカスを植えよう

●活動実績

これからの島田をもっと楽しくしてみませんか？こんなキャッチフレーズに誘われ「地域おせっかい 養成講座」を受講した当会会員が「居場所づくり」の一環として本活動を提案し、しまだ環境ひろばの活動としてやっていくことになりました。タイタンとはギリシャ語由来、とても元気な神様という意味から来ているとのこと。開花は7月中旬から10月で暑い盛りに大輪の5種類の花が咲きます。

植付け場所は、「しまだ環境ひろば 御仮屋市民農園」の東側土手と、「しまだ環境ひろば 中溝町コミュニティ農園」の北側土手としました。

タイタンピカスの苗の植え付けの様子



2つの農園でタイタンピカスが咲き誇る様子



◎活動名 伊太谷川清掃活動

●活動実績 平成 27 年度の活動は、伊太谷川の清掃活動を 3 回実施しました。燃えるゴミ、空き缶類等多くのゴミが回収されました。活動結果は下記のとおりです。

伊太谷川清掃活動			
日時	参加人数	場所	ゴミ回収量
H27.4.16	21 人	静居寺大橋～静居寺橋下流 約 550m	燃えるゴミ 13kg 空き缶 1kg
H27.5.27	17 人	静居寺橋下流～伊太谷川橋 約 550m	燃えるゴミ 3.5kg 空き缶 0.5kg
H27.10.7	15 人	静居寺橋周辺 約 650m	燃えるゴミ 7kg 空き缶・ビン 1kg



清掃活動



参加者と回収されたゴミ



河原に咲くタンポポ



河原に咲くムスリカ

◎活動名 地域の自然環境の保持と住民の生活向上

●活動実績 しろやまゆいの会では、自然の環境の保持や地域住民の健康で文化的な生活の向上を目指して、下記の6事業について活動を行い、活力ある地域づくりに寄与しました。

平成27年度 事業報告				
事業名	事業内容	実施日	従事人数	実施場所
自然とのふれあい事業	湯日っ子の森草刈り	7/12、11/29	51	空港アクセス道路北側方面
	湯日っ子の森植樹	3/8	5	
	太陽光発電施設芝桜等管理	4/1~3/31	38	
	芝桜管理	4/15~月1回		
	芝桜植付け	3/8、3/12	55	
文化の伝承事業	炭火焼体験イベント	12/13、3/12		炭焼き窯
自然保護事業	下草刈り	11/7、11/29、12/5、12/14、	48	長間谷
	間伐	12/19、1/21、1/22、 1/23、1/24、1/25	33	
	草刈り	5/28、5/30、7/3、7/26、 8/11、9/19、11/7、11/23	143	養勝寺川
	草搬出	12/9、12/10	9	柿の木沢
	竹林整備、竹林間伐	1/16,2/17	16	原の平吹木線沿い
	草刈り	7/12	5	湯日小学校校庭
しろやま公園活用事業	七夕祭りイベント	8/2	30	しろやま公園
しろやま公園管理事業	芝刈り、除草	6/20、10/28 6~11月(月1回)	38	しろやま公園
他団体への支援事業	高齢者福祉活動花壇等管理			



空港周辺部草刈り



七夕祭りの様子



湯日っ子の森 芝桜植え付け・管理



湯日っ子の森 植林

大津谷川を愛する会

◎活動名 大津谷川清掃活動

●活動実績 大津谷川を愛する会では、毎年 3 月の第2日曜日に大津谷川と伊太谷川の合流地点より上流部の大津谷川の清掃活動を実施しています。

活動日：平成 28 年 3 月 6 日

参加者数：180 人

場所：大津谷川と伊太谷川の合流部から、大草、尾川に至る河川

回収量：軽トラック 7 台分のごみ



清掃活動の様子

水と里山を守る会

◎活動名 里山・里地整備 荒廃耕作地を再耕作

●活動実績

市街地周辺の中山間部や農家の裏山の茶畑などが耕作放棄され続け竹林に遷移しています。速い速度で拡大する暴走竹林は手の入らなくなった荒廃したスギ・ヒノキ林に侵入し枯死させて一帯を大きく変貌させています。「水と里山を守る会」では荒廃竹林の伐採や荒廃が著しい里山の再生、荒廃里山樹林森の整備を行っています。平成27年度につきましても、下記のとおり 14 件の活動を実施しました。

平成27年度 活動実績				
活動内容	実施日	回数	活動場所	備考
荒廃整備・竹林間伐、再竹林化の抑制整備、混交林化促進（樹種の転換への育苗）	4/26、11/28	2	菅ヶ谷池周辺竹林帯	間伐、破碎機によるチップ化、再生作業・育苗
里山整備、荒廃耕作放棄地整備、里地・里山整備・再生、育苗	4/15、4/17	6	上野田菅ヶ谷池横竹林伐採跡地	里山整備・再生雑木伐採、育苗、周辺の里山樹林の手入れ
里山整備、荒廃耕作放棄地整備、里地・里山整備・再生、育苗	8/28、9/18、9/19、10/6、11/14、11/15	2	菅ヶ谷池周辺山間部茶畑耕作放棄地	竹林伐採跡地、放棄茶畑跡地耕耘ソバ栽培

県民森づくり大作戦	9/18、9/19、 11/14、11/15	4	上野田菅ヶ谷池 横荒廃地	森づくり大作戦、竹伐採、荒 廃跡地ソバ刈りハンデ干し
合計回数		14		

①里山・里地整備 荒廃耕作地を再耕作（4/15、4/17、4/26）

背丈ほどの雑草を刈り、放棄茶木を抜去し、雑草の根の残った荒地を何度となく耕し、苗木の育苗や草花の移植などを実施した。

- ・土留め護板、排水溝、間伐木材・竹林利用工事業



②秋の森づくり県民大作戦

- ・そば畑のための耕耘、石拾い（8/28、9/18、9/19）



- ・そばの収穫（11/14、11/15）

コンバインを使わず、手作業で刈り取った。天日干しや脱穀、篩分けの様子。



③ 荒廃スギ・ヒノキの間伐作業・荒廃竹林間伐と利用をしている様子



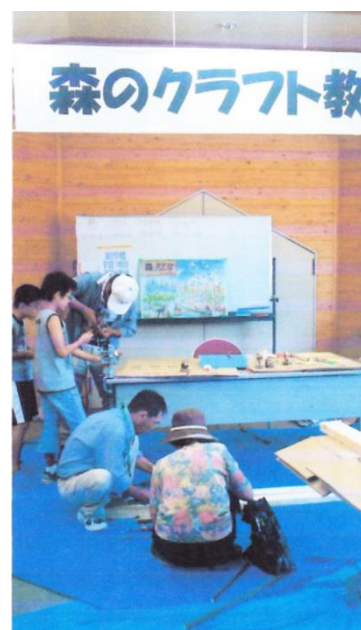
ふるさとの森

◎活動名 森のクラフト教室

●活動実績

ふるさとの森では、自然素材である地元の木材を利用して工作を行う「森のクラフト」を実施しています。子どもから高齢者まで、自分で木を切り、形を工夫して作成します。平成27年度に付きましても、様々な場所に出向き開催しました。

実施日	イベント名称	会場
4/19	静岡ゴミゼロフェスタ	静岡市清掃場内
8/1	番生寺地区親子ふれあい	番生寺会館
8/2	金谷地区親子ふれあい	金谷公民館
8/12	六合東小親子ふれあい	六合東小・児童クラブ
10/4	静岡ゴミゼロフェスタ	静岡市清掃場内
11/7	焼津東益津地区親子ふれあい	焼津東益津公民館
11/14-11/15	金谷公民館まつり	みんくる
12/5	焼津東益津地区親子ふれあい	焼津東益津公民館



森のクラフトの様子

御林守河村家を守る会

◎活動名 文化財周辺風景の維持管理

●活動実績

御林守河村家を守る会では、市の指定文化財である「河村家住宅」の周辺風景の維持管理をしています。草取り・草刈り・修理等を実施し維持管理をする一方で、刀剣や青仏の展示等を開催し、多くの方に見学してもらえるようにしています。平成 27 年度の活動実績については以下のとおりとなっています。

平成 27 年度 活動実績	
実施日	活動場所
H27.5.7	建造物修理、防蟻処理
H27.5.25～30	草取り
H27.7.26、10.11	刀剣展
H27.10.5～10	草取り
H27.12、1	青仏展
H28.1.25～30	庭手入れ、草刈り竹伐
H28.2.18	風景維持（土木工事）
H28.2.28	古文書展



JA 大井川女性部島田ブロック

◎活動名 環境美化ゴミ拾い運動

●活動内容

JA 大井川女性部島田ブロックでは、平成8年度から年 1 回大井川河川敷にて、農家の田畑を潤してくれる大井川に感謝の気持ちを込めて美化活動を行っています。平成 27 年度も多勢の方にご参加いただき実施しました。

活動日時：平成 27 年 9 月 5 日(土)

参加人数：約 60 人



大井川河川敷にて清掃活動の様子



大井川河川敷にて清掃活動の様子

特定非営利活動法人 里山仕事・しょんた塾

◎活動名 里山整備

●活動内容 里山仕事・しょんた塾では、里山整備をはじめとする、様々なボランティア活動を行っております。平成27年度につきましても、下記のとおり活動を実施しました。

平成27年度 活動実績	
活動内容	
1	諏訪原城跡の整備 (ヒノキ林の間伐、再生小竹の山林)
2	「森の力再生事業」で、島田市大代の山林 1.5ha の ヒノキ・スギを間伐
3	神谷城・塩ノ田の草刈り・農地利用 四阿の自作・設置
4	金谷「文化産業祭」の参加 川根ワールドフォーラムにパネラーとして参加
5	城跡3ヶ所の見学勉強会 天竜スギ林の見学勉強会



活動の様子

里山どんぐりの会

◎活動名 里山づくり(人工林・雑木林の育成)

●活動実績

年間を通して週3日、1日6人程度による以下の作業を行いました。

平成27年度 活動実績①	
1.	杉桧の混合林(約1.1ha)の環境伐(45%)
2.	伐倒木は木止めとして水平に設置、路側材や杭にも利用
3.	作業路造成(約900m)
4.	上記作業路をハイキングコースとしても整備
5.	上記混合林や雑木林に侵入または隣接した竹の皆伐
6.	竹林の皆伐跡地にコナラなどを植林。苗は現地で採取したどんぐりを現地の土をつめた牛乳パックで育てたもの。イベント開催時に参加者が植林した。

◎活動名 「森づくり大作戦」

●活動実績

平成27年度 活動実績②				
イベント名	実施日	場所	参加者	活動内容
「春の里山イベント」 ～タケノコ掘り～	4月19日	大草	小学生連れの親子など80人	竹の伐倒体験、タケノコ掘り、 タケノコ調理法の学習
竹林の整備体験	6月13日	大草	地元住民や企業にも 呼びかけ15人参加	伐採体験、流しそうめん用の竹 樋作り
秋の里山イベント	10月17日	大草	10人参加	牛乳パックで育てたカシヤコ ナラの苗木を竹林皆伐跡地に 植樹

しまだ次世代育成支援ネットワーク

◎活動名 もったいないをプレゼント

●活動実績

しまだ次世代育成支援ネットワークでは、毎年1回「島田夏まつり」に併せて、「地域の子育ては、地域のみんなで応援しよう」をモットーに、使わなくなった子ども用品、今必要としている子育て中の家族に、私たちの思いを込めてプレゼントをする活動を実施しています。平成27年度も島田市内外の多くの皆様からのご寄付していただき下記の通り開催することが出来ました。そして大勢の親子の笑顔と接することができました。

尚、残った衣類は、綿とそれ以外を分類後綿類は島田市社会福祉協議会、柔道着は島田市立島田第二中学校へ届けました。

活動日時：平成27年8月2日(日)午後2時から午後3時30分

会場：地域交流センター歩歩路多目的ホール 来場者：312人(子供含む)

共催：株式会社まちづくり島田

広報：市広報課、(株)まちづくり島田、島田夏まつり実行委員会

②次世代教育活動

次世代を担う子供たちを中心に、エネルギーや環境についての重要性を学んでいただくための取り組みとして出張授業を実施しています。

平成 27 年 8 月 6 日には島田市伊太の田代環境プラザで、「平成 27 年度夏休み親子環境学習講座」を島田市と共同開催いたしました。当日は講師として静岡ガス株式会社の岩ヶ谷昌敏氏をお招きし、「環境にやさしい太陽光発電と天然ガス」の講義や、光による発電、マイナス 196℃の液体窒素に野菜を入れてその変化を見る実験などを行いました。

天然ガスは、採掘地にて超低温処理により液化され、体積を気体比 1/600 にすることでタンカーによる輸送を可能としており、参加された皆さまにはこのような冷却実験を通して、仕組みをご理解いただきました。



＜夏休み親子環境学習講座 当日の様子＞

③食育・全国クッキングコンテスト

昨今、子供たちの食生活の乱れが心身の発達に及ぼす影響が指摘されるなか、「食育」が注目を集めています。「食育」とは、栄養の大切さ、食事の自己管理能力を育てるものです。未来ある子供たちの健全な育成のために、全国親子クッキングコンテストの広報と、静岡県大会では他の県内のガス事業者と大会を運営しています。

2015 年第 9 回大会では、多数の応募者の中から 2 年生と 4 年生の 2 組の親子代表が県大会に出場し、静岡ガスショールームでオリジナルのメニューを披露していただきました。

